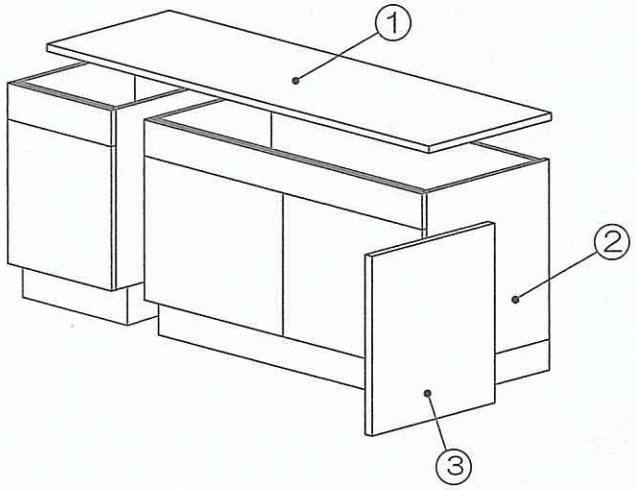
タカラ システムキッチン
並列ユニット設置説明書



①並列用カウンター
②フロアキャビネット
③エンドパネル

もくじ

1．設置される方へのお願い ……1
2．安全上のご注意 ……2
3．設置前のご確認 ……3
4．設置方法
(ホーロー製カウンターキャビネット)… 3～11
(木製カウンターキャビネット)……12～15
5．仕上げ …… 15
6．安全点検 …… 16
7．お願い事項 …… 16

1．設置される方へのお願い

●キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。

●本説明書は、並列ユニットに関する設置説明書です。その他のキャビネットは、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●カウンター高さ900mmのプランの場合は、別途台輪スペーサーが必要になります。台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。

●設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●取扱説明書は流し台に同梱されていますシステムキッチン取扱説明書をご覧ください。なお、並列ユニットのみご購入された場合は、弊社営業所から取扱説明書を取り寄せください。

●本設置説明書は紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意　必ずお守りください。

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

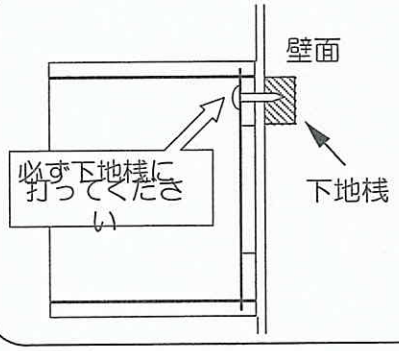
●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

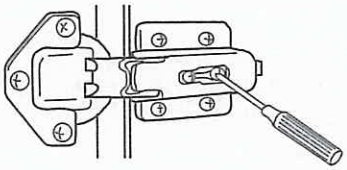


キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地桟があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通り確実に行なってください。

ネジ打ち部分に下地桟が無かったり下地桟の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが転倒・脱落して大けがをするおそれがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。

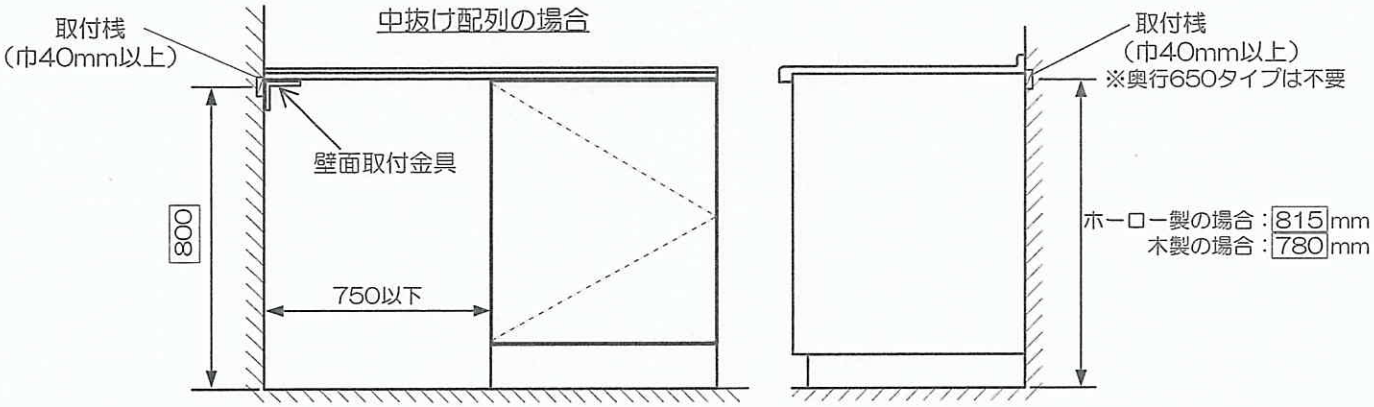
棚受けがはずれ、食器などが落下して怪我をするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因のなるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●並列ユニットの両側が壁の場合、壁間の寸法がカウンター間口より6～7mm以上大きいことを確認してください。
●並列ユニットはキャビネット後方、および側面より壁面にネジで固定します。
したがって、ネジ打ち位置の壁面下地が十分な強度を有するか確認してください。
強度が十分でない場合は、取付ネジの位置に巾４０mm以上の桟木を壁面下地に取付けてください。



※ □ 内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
カウンター高さ820mmの場合、ロ－30mmになります。
カウンター高さ900mmの場合、ロ＋50mmになります。

4. 設置方法

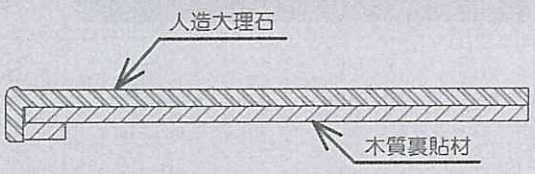
下記の手順にしたがって、設置作業を進めてください。

Ⅰ．ホーロー製カウンターキャビネットの設置方法

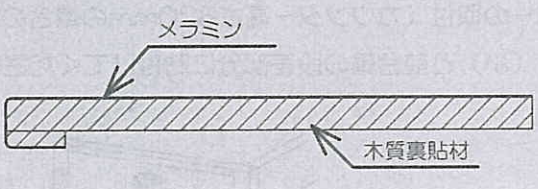
（木製カウンターキャビネットの場合は12～15ページを参照してください）

ご注意：●カウンターは２タイプあります。各々設置方法が異なりますので、設置するカウンターがどのタイプか確認してください。

人大カウンター



メラミンカウンター



H－1．扉・引出の取りはずし

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉と引出を取りはずしてください。

H－2．台輪スペーサーの取付（カウンター高さ９００mmの場合のみ）

台輪スペーサー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

H−3. キャビネットの仮置き

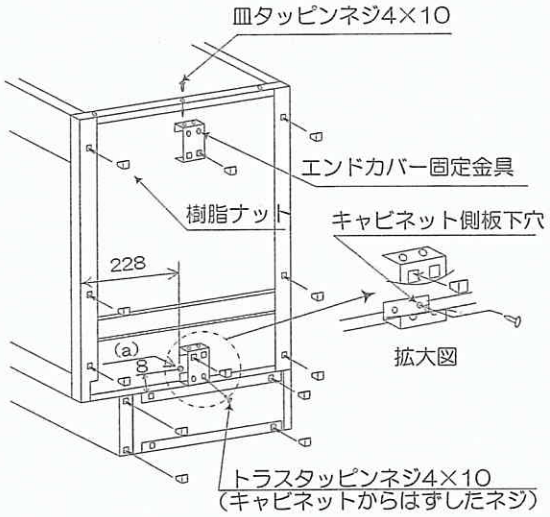
【1．エンドカバーの取付】（エンドカバーを取付ける場合のみ）

●奥行650タイプの場合

エンドカバーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

●奥行460タイプの場合

①固定金具の取付
エンドカバー固定金具を側板上・下に取付けてください。側板下部へ取付ける場合は、キャビネットに取付けているネジ（a）をはずして使用してください。

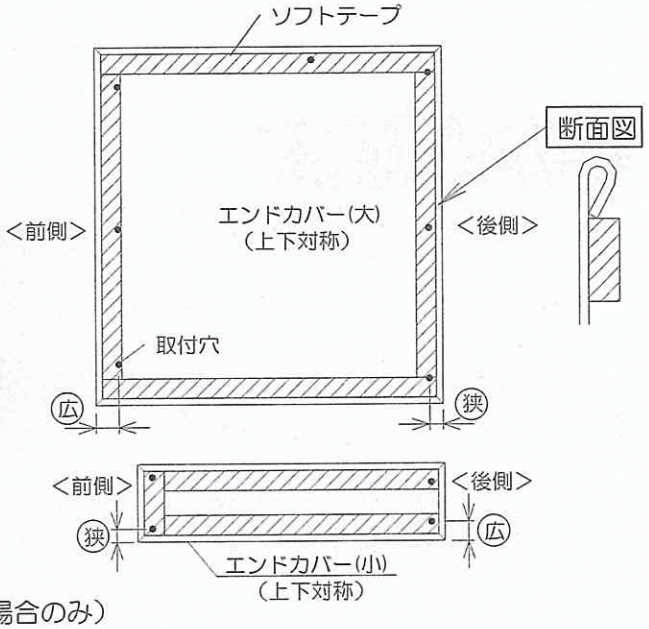


②樹脂ナットの取付
樹脂ナットをキャビネット角穴および金具穴に差し込んでください。

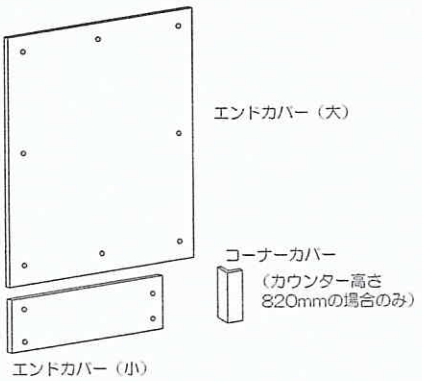
③ソフトテープの貼付
ソフトテープをエンドカバーに貼付してください。

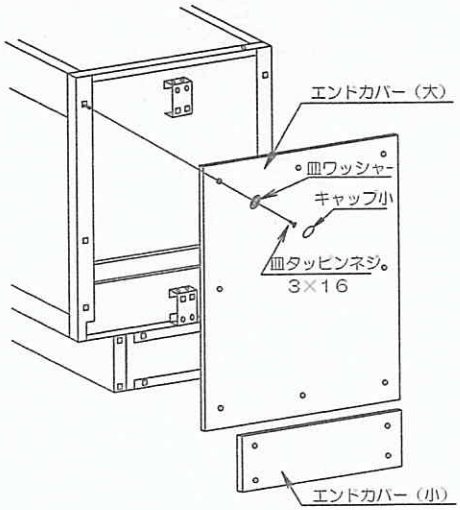
④エンドカバー（大）・（小）の取付
ネジ、皿ワッシャーで樹脂ナットにネジ止め後、キャップをはめてください。

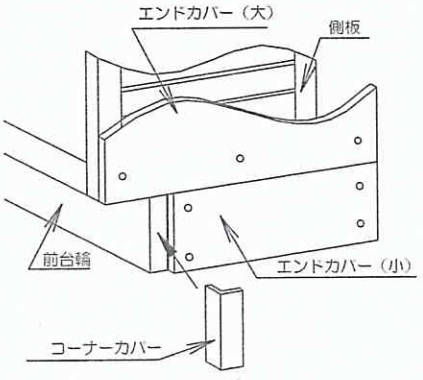
ご注意：1．エンドカバー（小）を取付けてからエンドカバー（大）を取付けてください。
2．エンドカバー（大）と（小）との間にスキがでないようにしてください。



⑤コーナーカバーの取付（カウンター高さ820mmの場合のみ）
エンドカバー（小）と前台輪の段差部分に貼付けてください。

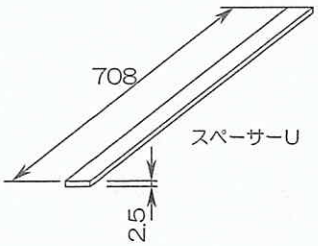


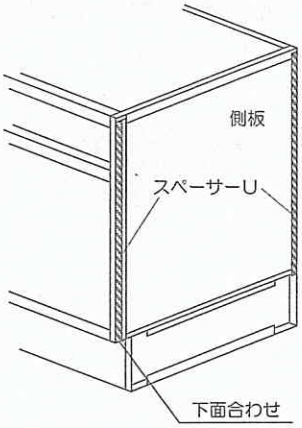




【2. 間口調整用スペーサーの貼付】

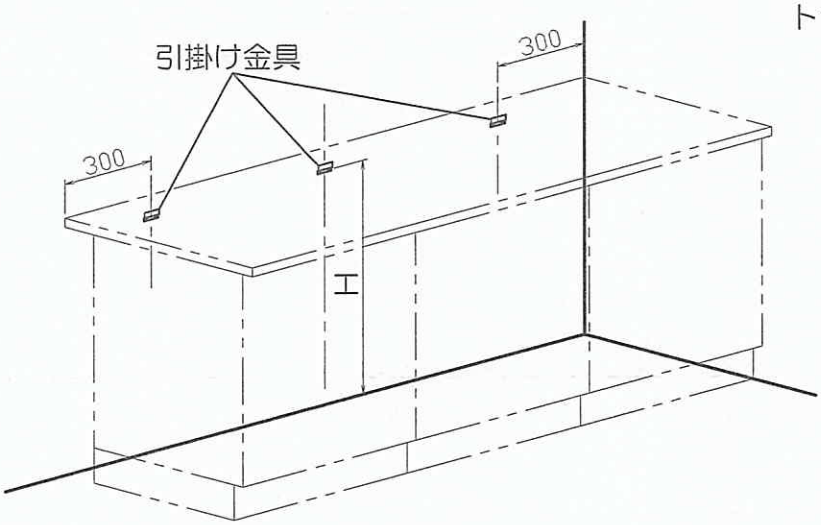
120・105・90間口のキャビネットを含む場合は、クローズ側の側板側面にスペーサーUを貼付けてください。

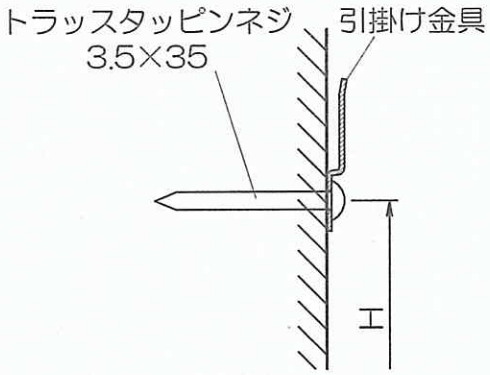




【3. 引掛け金具の取付】

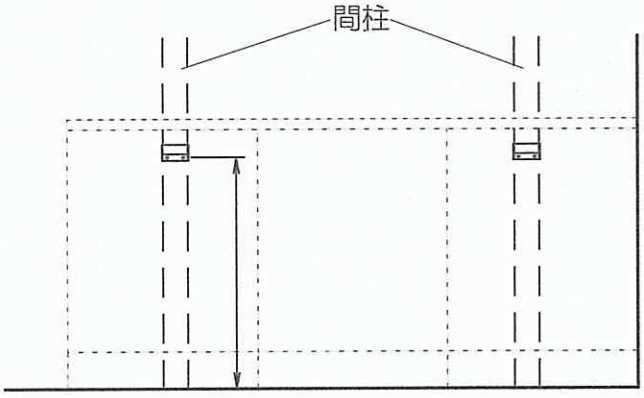
①カウンターユニット設置スペースの背壁に引掛け金具を取付けてください。



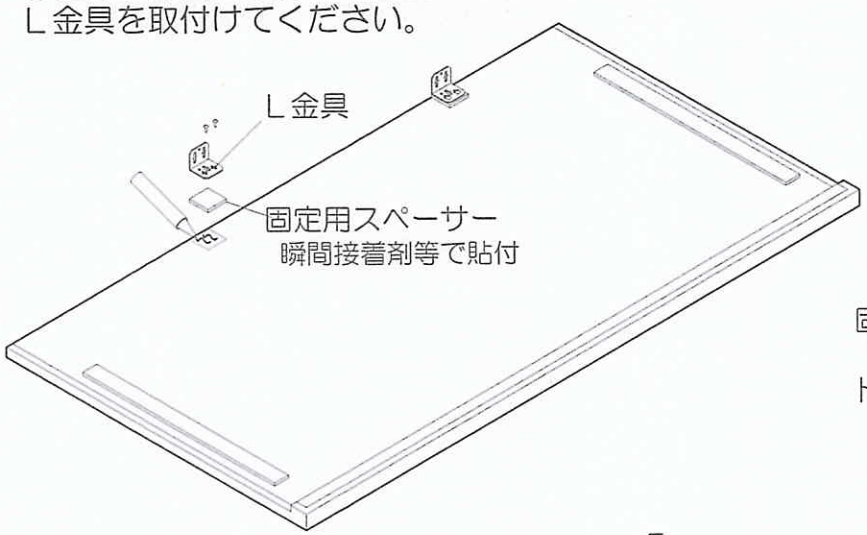


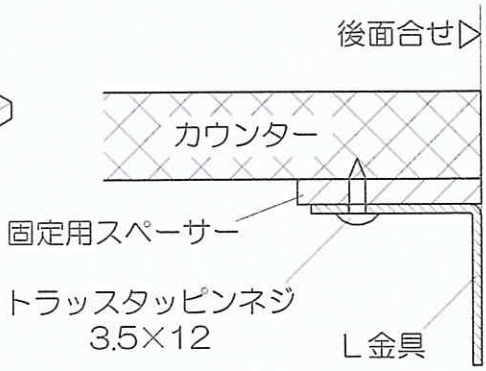
カウンター高さ	H寸法
82cm	753
85cm	783
90cm	833

・上図の位置では桟木がなくネジ固定が不十分な場合は、間柱がある箇所に取付けてください。



②引掛け金具を取付けた箇所に合せて、カウンター裏に固定用スペーサーを貼付けた上でL金具を取付けてください。

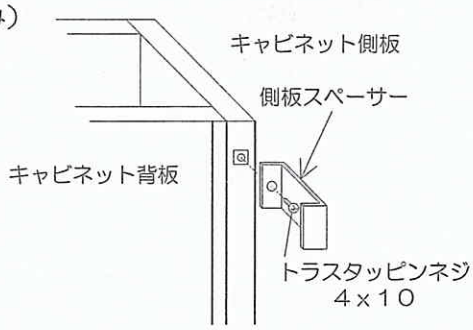




【4. 側板スペーサーの取付】（奥行650タイプキャビネットのみ）

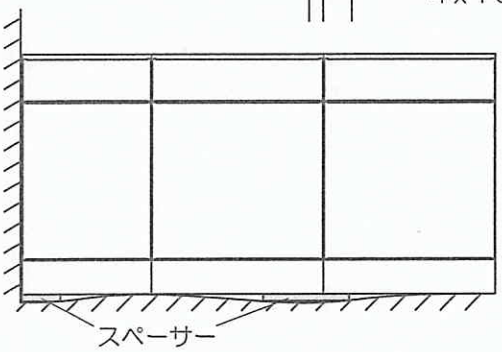
位置決め用の側板スペーサーをセット両側の側板にネジで固定してください。

ご注意：エンドカバーを取付けるキャビネットの側板には不要です。



【5. キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



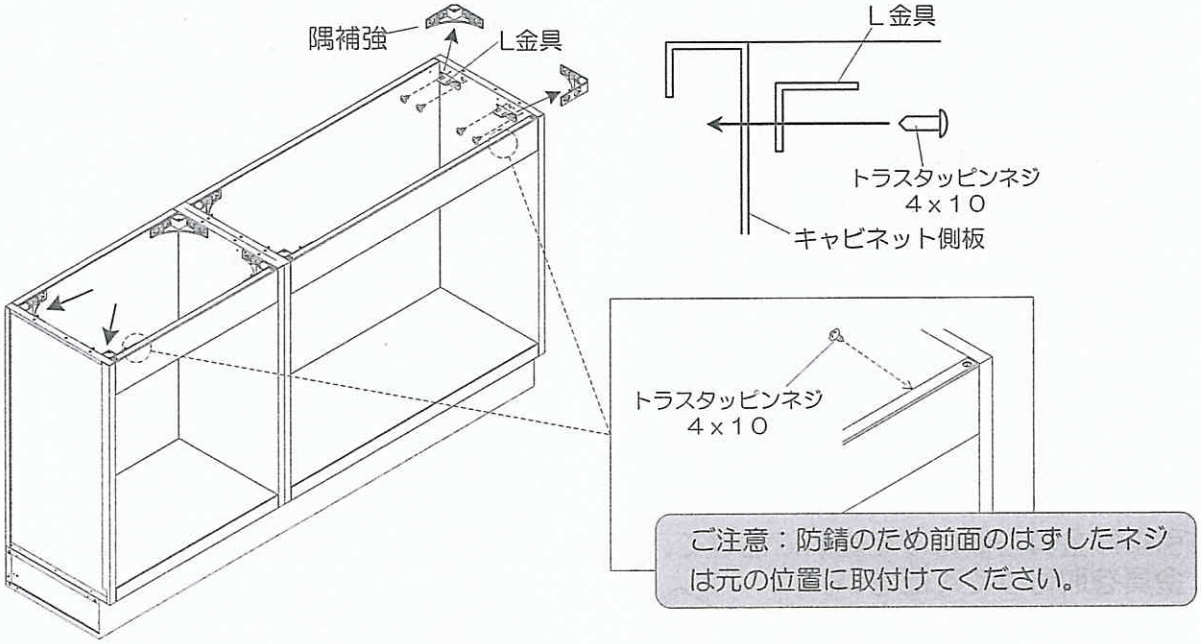
H－4. キャビネットの設置

【1. キャビネットの連結】

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照してください。

【2. カウンター固定用Ｌ金具の取付】（人大カウンターのみ、メラミンカウンターの場合は不要）

カウンターの両端を固定します。カウンターの両端に位置する隅補強をはずし、Ｌ金具に付け替えてください。カウンター片端を壁等に固定する場合は、反対側の片側の隅補強のみ付け替えてください。

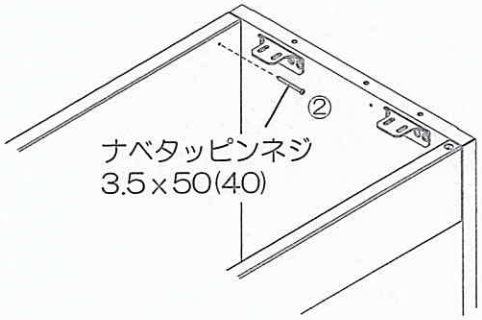


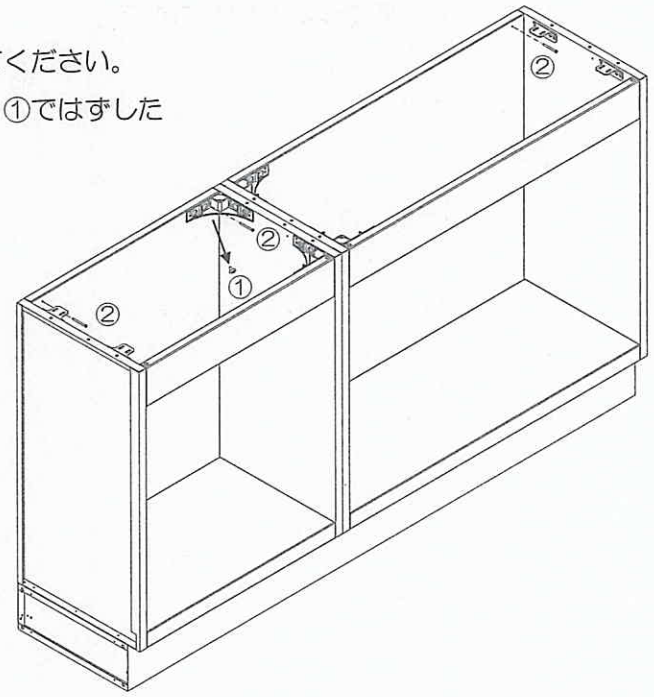
【3. キャビネットの壁固定】（奥行460タイプのみ、奥行650タイプは不要）

●人大カウンターの場合

①センター部の隅補強を止めているネジをはずしてください。

②セット端の隅補強が止まっていたネジ穴、及び、①ではずした
ネジ穴から壁面へネジ打ちしてください。

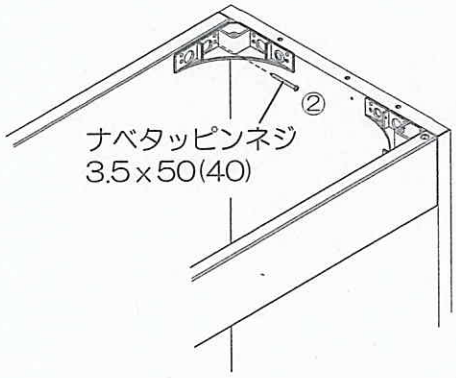


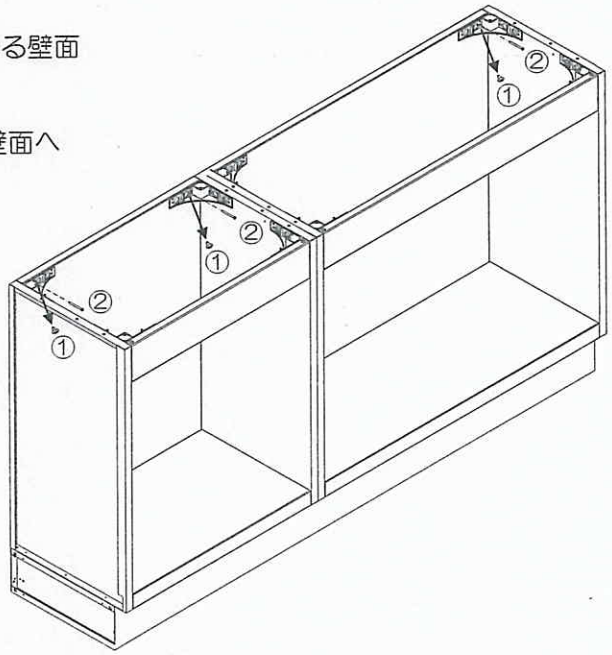


●メラミンカウンターの場合

①隅補強（両サイドおよび中央の3ヶ所）を止めている壁面
側のネジをはずしてください。

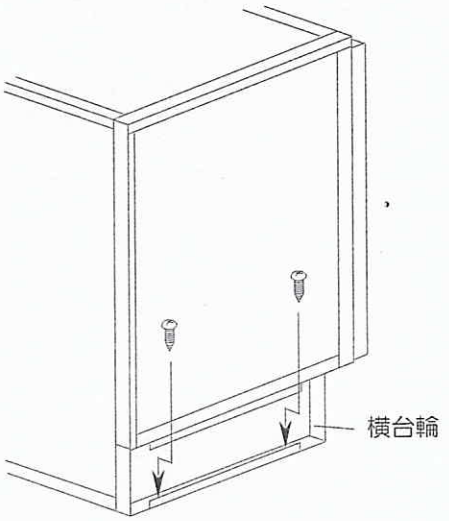
② ①ではずしたネジ穴からキャビネットをネジで壁面へ
固定してください。





【4. キャビネットの床固定】

オープン側は横台輪から床へネジ（現地手配）で固定
してください。



【5. 棚板の取付】

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して
棚板を取付けてください。

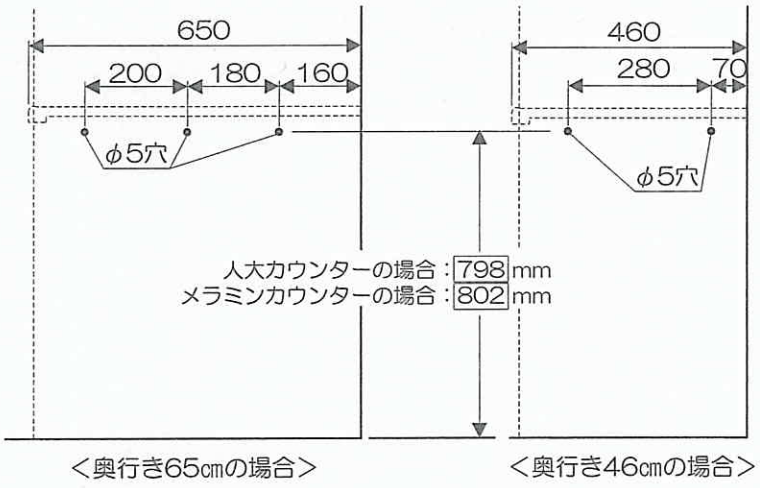
H－5．中抜け配列でカウンターの片端を壁・トールユニットに固定する場合

【1．カウンター固定用の下穴の加工】

壁面およびトールユニットにホーロー製のパネルが設置されている場合は、穴を加工してください。

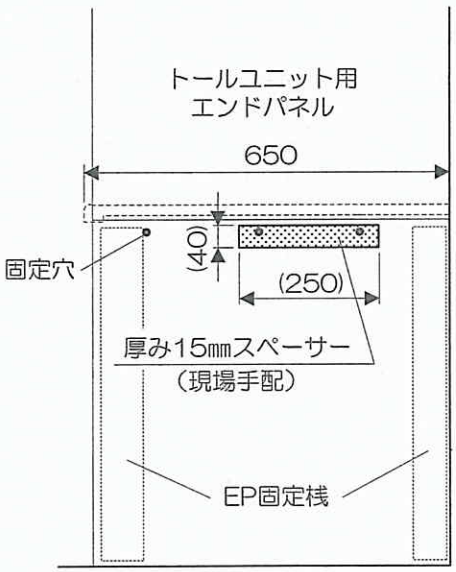
①パネルの所定の位置にφ5穴を加工をしてください。

②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。



※ □ 内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
カウンター高さ820mmの場合、ロ－30mmになります。
カウンター高さ900mmの場合、ロ＋50mmになります。

③奥行650タイプ用トールユニットのエンドパネルに固定する場合は、固定穴の付近に裏貼がないため、厚み15mmのスペーサー（現場手配）を貼付け、スペーサーにもφ5穴を加工してください。

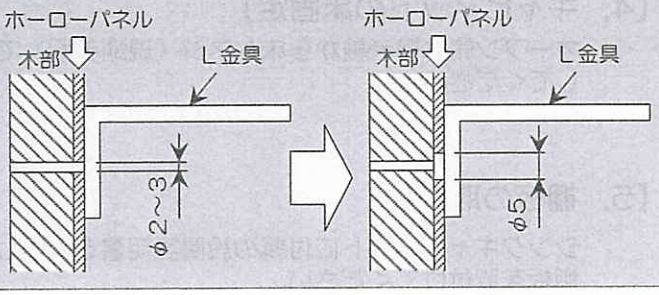


ご注意）

ホーローパネルを貼付けたサイドパネルに固定する場合は、ホーローパネルにのみ穴を加工してください。木部に深く穴を加工してしまうと、ネジで固定できなくなります。

＜穴加工の推奨方法＞

・所定の位置へφ2～3の下穴を加工する。
・下穴をガイドにホーローパネルのみにφ5穴を加工する。

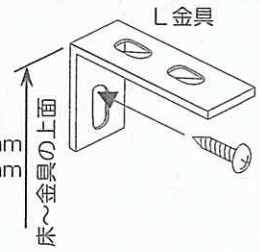


【2．L金具の取付】

L金具を所定の位置にネジで取付けてください。

注）●取付場所によりネジの種類が異なります。
●ネジは、長穴の上端に打ってください。

※□内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
カウンター高さ820mmの場合、□−30mmになります。
カウンター高さ900mmの場合、□+50mmになります。



人大カウンターの場合：826mm
メラミンカウンターの場合：830mm

＜使用ネジ＞

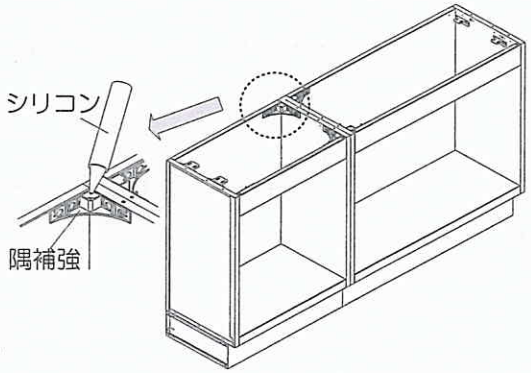
取付箇所	使用ネジ
トールユニット	トラスタッピンネジ4×14
サイドパネル	
トールユニット＋エンドパネル	トラスタッピンネジ4×30
壁	
壁＋キッチンパネル	

H−6．カウンターの設置

【1．シリコンの塗布】（人大カウンターの場合のみ）

すべての隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

ご注意：L金具の上には塗布しないでください。



【2．カウンターの設置】

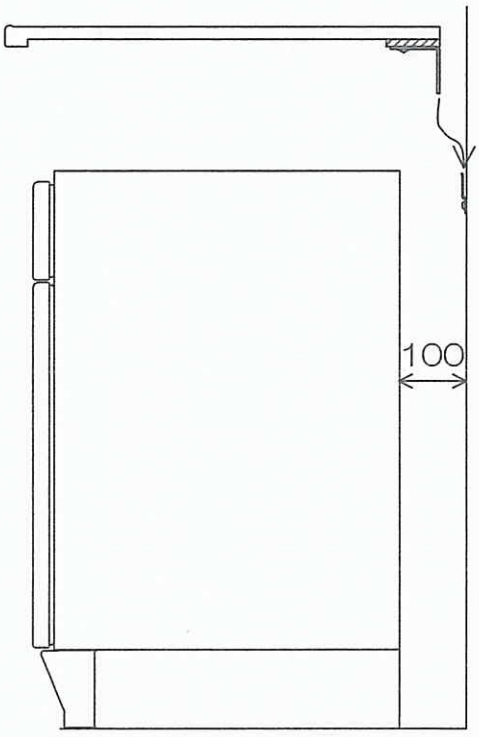
下記の要領でカウンターをキャビネット上に置いてください。

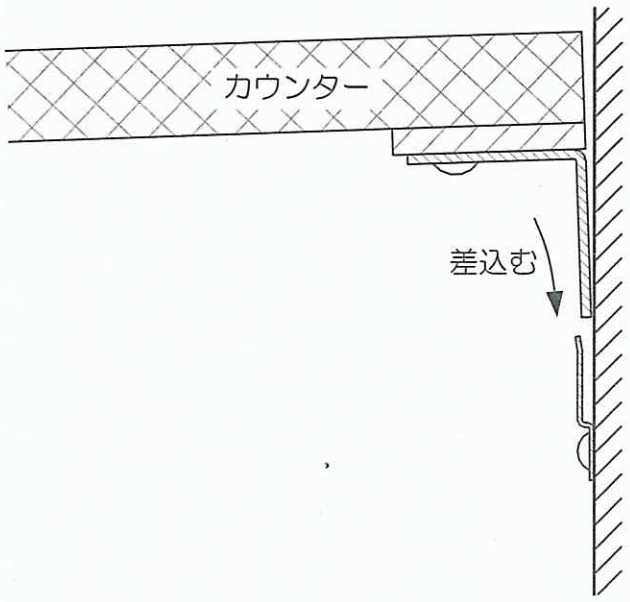
奥行方向：キャビネット前部とカウンター前下り部との間にスキがないようにカウンターを押し付けて設置してください。

間口方向：クローズ側のキャビネット側板とそろえて設置してください。ただし、両側にエンドカバーを取付ける場合はキャビネット中央に設置してください。

※奥行650タイプキャビネットの場合

カウンターに取付けたL金具を引掛け金具に差込むようにして、カウンターを設置してください。





・カウンター設置後、カウンターを軽く手前に引っ張りL金具が確実に引掛っていることを確認してください。

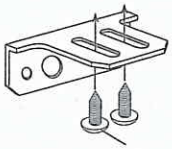
【3. カウンターの固定】

①カウンターをキャビネットと固定してください。

●人大カウンターの場合

キャビネット内よりL金具を介して、カウンターをネジで固定してください。

ご注意：L金具の長穴のセンター付近にネジを打ってください。

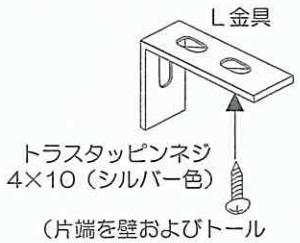


トラスタッピンネジ
4×10
（人大カウンターの場合）

●メラミンカウンターの場合

キャビネット内より隅補強を介して、カウンターをネジで固定してください。

②片端を壁およびトールユニットに設置する場合、カウンターをネジ（シルバー色）で固定してください。

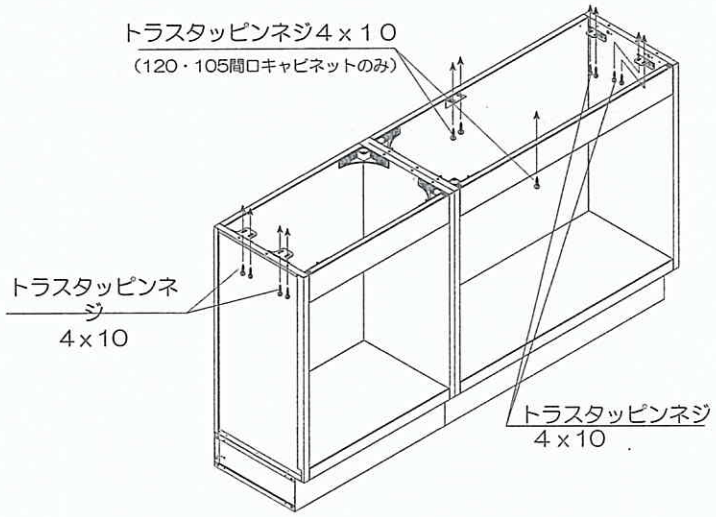


（片端を壁およびトール
ユニットに設置する場合）

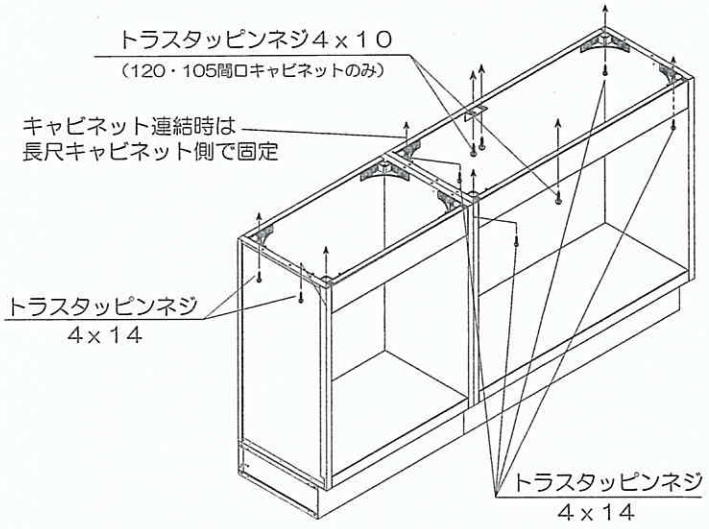
③１２０・１０５間口のキャビネットがある場合、下桟中央付近の下穴よりカウンターをネジで固定してください。

④カウンター上におもりをおいてシリコンが硬化するまで約1日放置してください。（人大カウンターの場合のみ）

●人大カウンターの場合



●メラミンカウンターの場合



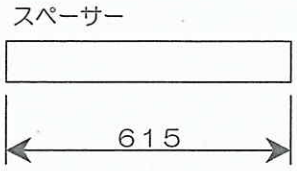
H－7．エンドパネルの取付（エンドパネルを取付ける場合のみ）

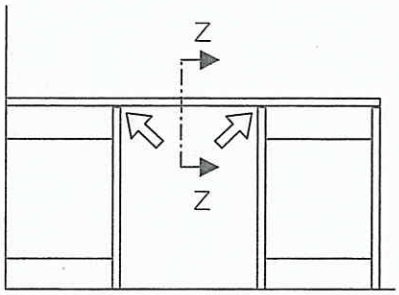
【1．エンドパネルの取付】

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

【2．スペーサーの取付】

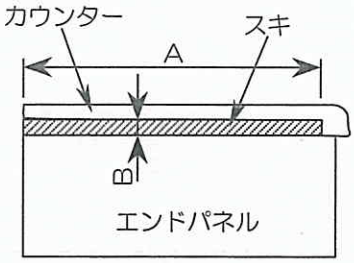
カウンター下の中抜きスペースにエンドパネルを取付けると、カウンター裏面とエンドパネル上木口面との間にスキが発生します。エンドパネル取付後、下記の手順でスペーサーをスキ部に取付けてください。





①スペーサーのカット

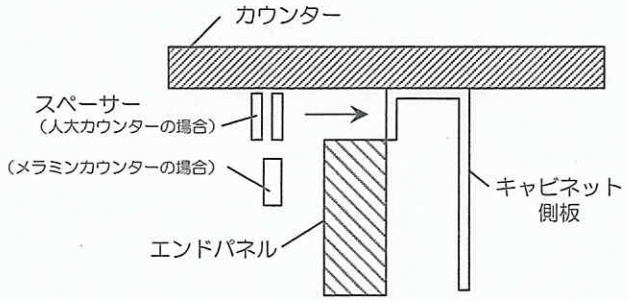
スキ寸法A、Bを実測し、（実測値-1）mmにカットしてください。 なお人大カウンターの場合、スペーサーは2枚重ねで使用しますので同一寸法のものを2枚ずつ用意してください。



Z部断面詳細

②スペーサーの接着

①でカットしたスペーサーを木工用瞬間接着剤でスキの部分に接着してください。



H－8．扉・引出の取付

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉と引出を取り付けてください。

Ⅱ．木製カウンターキャビネットの設置方法

（ホーロー製カウンターキャビネットの場合は3～11ページを参照してください）

M－1．扉・引出の取りはずし

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出を取りはずしてください。

M－2．台輪スペーサーの取付（カウンター高さ９００mmの場合のみ）

台輪スペーサー付属の設置説明書にしたがって行ってください。

※１段引出付きオープンタイプのみ台輪スペーサーの取付が不要です。

M－3．キャビネットの仮置き

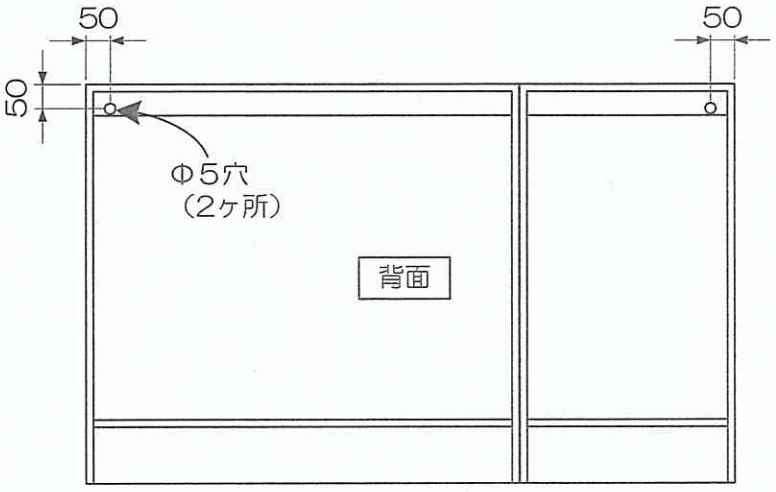
【1．壁面固定用下穴の加工】

キャビネットの後板に壁面固定用の穴を加工してください。

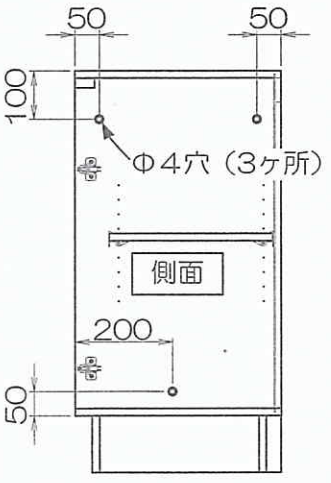
【2．連結用下穴の加工】

複数のキャビネットを連結する場合は、連結する一方の側板の所定の位置に連結用の穴を加工してください。

注）・１段引出付きオープンタイプと扉タイプのキャビネットを連結する場合は、扉タイプのキャビネットに連結用の穴を加工してください。
・下図は穴加工位置の一例を示していますが、引出レール等で図の位置に加工ができない場合は、上下に位置をずらして穴を加工してください。



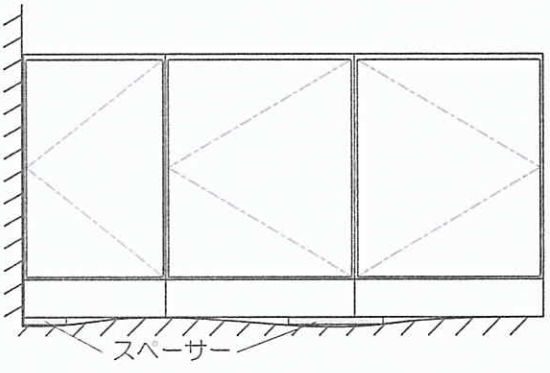
<壁面固定用下穴位置>



<連結用下穴位置>

【3．キャビネットの仮置き】

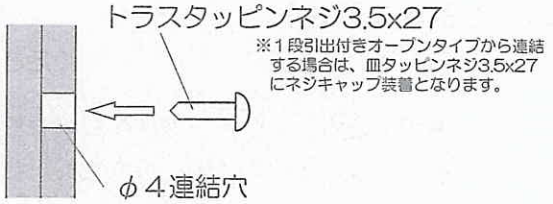
キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



M－4．キャビネットの設置

【1．キャビネットの連結】

隣接するキャビネットの側板の上面と前木口面を合わせ、連結用下穴からネジで連結してください。



【2．キャビネットの壁固定】

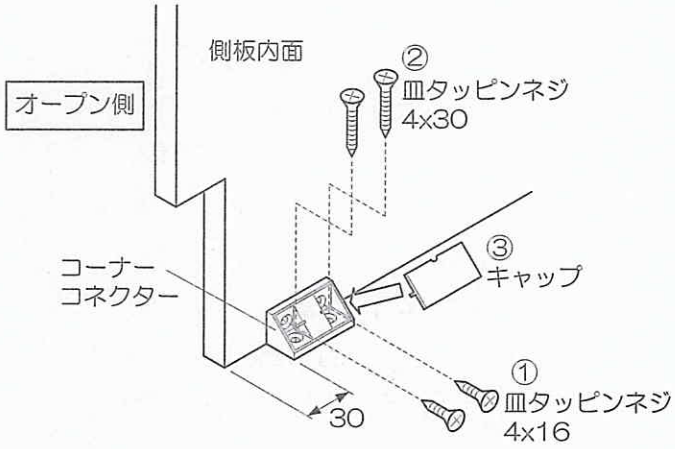
壁面固定用下穴からトラスタッピンネジ4.5x60で壁面に固定してください。

【3．キャビネットの床固定】（1段引出付きオープンタイプのみ）

①コーナーコネクターの取付
オープン側の側板内面に、キャビネット付属のコーナーコネクターを皿タッピンネジ4x16で取り付けてください。

②床面へのネジ固定
コーナーコネクターから皿タッピンネジ4x30で床面に固定してください。

③キャップの取付
コーナーコネクターに付属のキャップを取り付けてください。



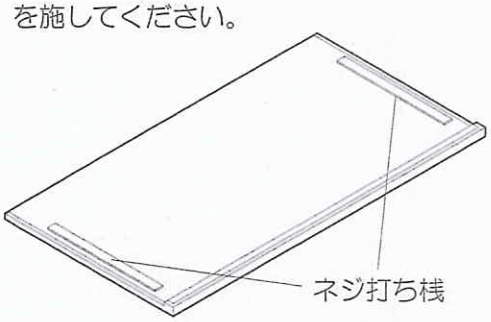
M－5．中抜け配列でカウンターの片端を壁・トールユニットに固定する場合

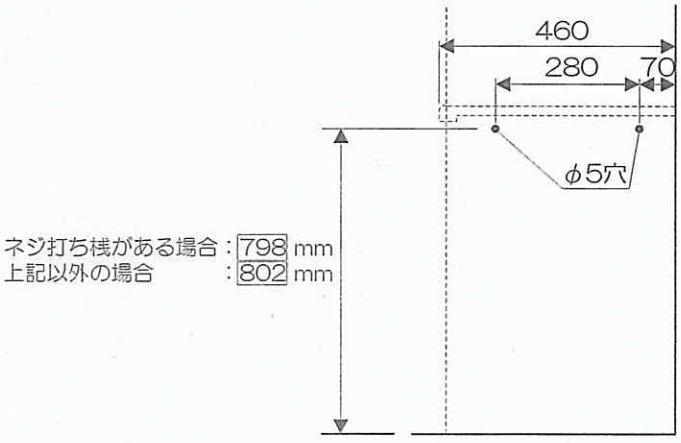
【1．カウンター固定用の下穴の加工】

壁面にホーロー製のパネルが設置されている場合は、穴を加工してください。

①パネルの所定の位置にφ5穴を加工をしてください。

②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。



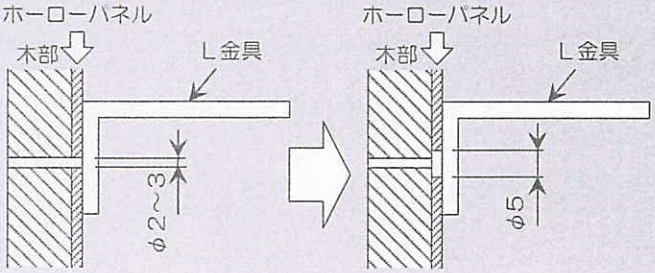


＜奥行き46㎝の場合＞

※ □ 内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
カウンター高さ820mmの場合、ロ－30mmになります。
カウンター高さ900mmの場合、ロ＋50mmになります。

ご注意）
ホーローパネルを貼付けたサイドパネルに固定する場合は、ホーローパネルにのみ穴を加工してください。木部に深く穴を加工してしまうと、ネジで固定できなくなります。

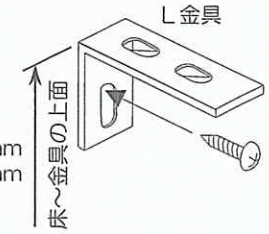
＜穴加工の推奨方法＞
・所定の位置へφ2～3の下穴を加工する。
・下穴をガイドにホーローパネルのみにφ5穴を加工する。



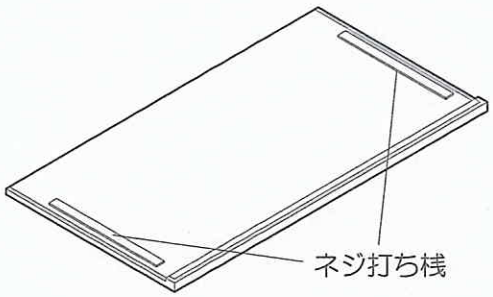
【2. L金具の取付】

L金具を所定の位置にネジで取付けてください。

注）●取付場所によりネジの種類が異なります。
●ネジは、長穴の上端に打ってください。



※ □ 内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。
カウンター高さ820mmの場合、□−30mmになります。
カウンター高さ900mmの場合、□+50mmになります。



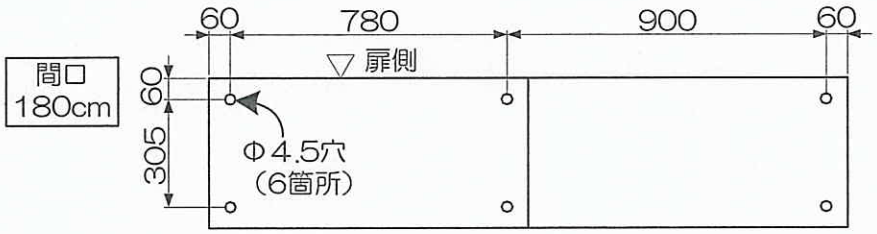
＜使用ネジ＞

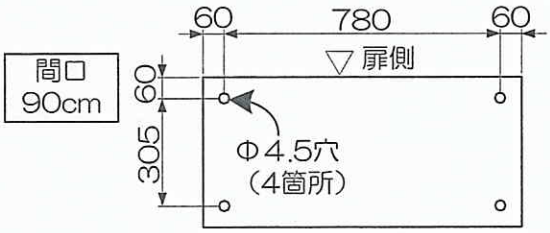
取付箇所	使用ネジ
トールユニット	トラスタッピンネジ4×14
サイドパネル	
壁	トラスタッピンネジ4×30
壁＋キッチンパネル	

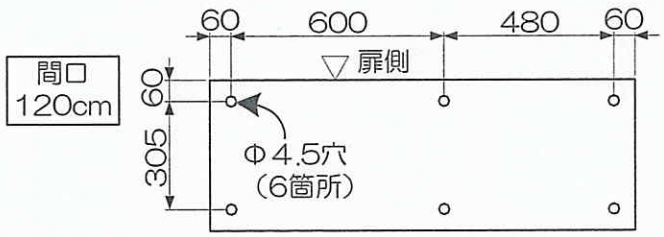
M−6. カウンターの設置

【1. カウンター固定用下穴の加工】

キャビネット天板部の所定の位置にカウンター固定用の下穴を加工してください。

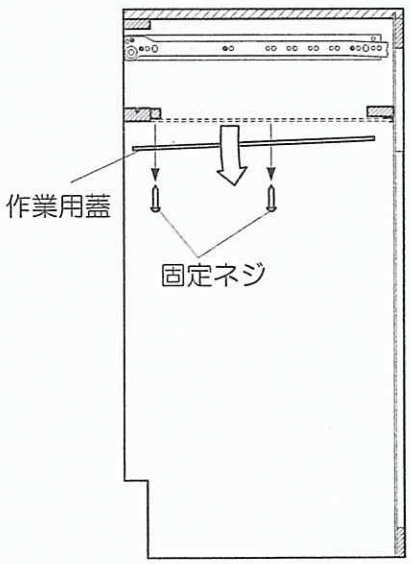






【2. 作業用蓋の取りはずし】（1段引出付きオープンタイプのみ）

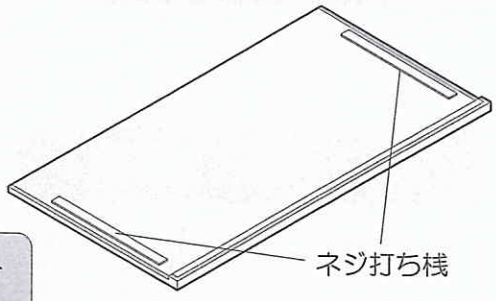
オープンスペース上面の固定ネジを取りはずして、
作業用蓋をはずしてください。



【3. ネジ打ち桟の取りはずし】 (L金具で固定する場合は不要)

①カウンター裏面にネジ打ち桟がある場合、
ノミなどを用いて取りはずしてください。

②取りはずした部分をヤスリなどを用いて平らになるよう研磨してください。

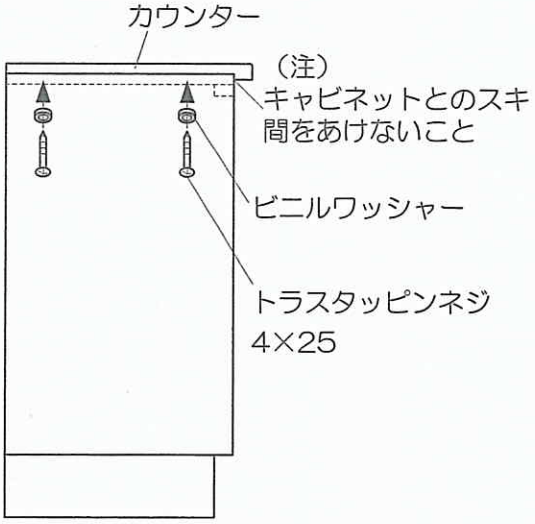


注) 取りはずした部分が平らでない場合、カウンターとキャビネットの間にスキができますので、必ず研磨を行ってください。

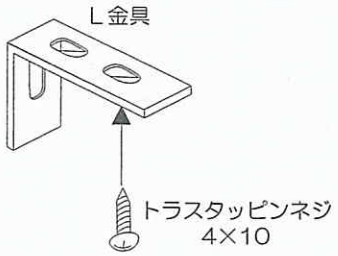
【4. カウンターの設置】

①カウンターをキャビネット側板外面にあわせてのせ、奥に押し当ててください。

②カウンターキャビネットに十分引きつけ、スキ間をなくしたうえでキャビネット天板にあいている固定穴からカウンターをネジで固定してください。



③L金具で固定する場合、カウンターをトラスタッピンネジ4×10で固定してください。



④(1段引出付きオープンタイプのみ) 取りはずした蓋を元の位置に戻して、元のネジで固定してください。

M−7. 扉・引出の取付

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出を取付けてください。

5. 仕上げ

【1. 扉・引出の調整】

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出の前後方向、左右方向の調整をしてください。

【2. コーキング処理】

カウンターの周囲等、必要と思われる個所へコーキング処理をしてください。

【3. 清掃】

キャビネットの汚れ、ゴミ等は中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検

扉の傾き、ガタツキや丁番のゆるみがないことを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたらカウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL 06−6962−1531

PCM1
153465
2G-2